

Title	Gallia 60号 あとがき/奥付
Author(s)	
Citation	Gallia. 60
Issue Date	2021-03-06
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/79409
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

あ と が き

この一年間、世界中が新型コロナウイルス蔓延への対応で明け暮れました。日本で急速に感染が広まり始めたのが2020年の2月末ごろでした。本会でも、まことに残念ながら、3月初旬に予定していた和田章男教授・岩根久教授退職記念講演会と同懇親会は9月に延期、その後無期延期といたしました。人が集まる多くのイベントは中止かオンライン開催への移行が一般的になり、本会と関係の深い行事だと、日本フランス語フランス文学会春季大会（5月）は中止となり、同秋季大会（10月）と同関西支部大会（11月）はオンラインにて開催されました。新年に入り再び感染が拡大し、本会恒例の3月の研究会もオンラインやむなしかと一旦は観念したのですが、本会役員のみなさんと相談した結果、思い切って研究会・予餞会を規模を縮小して対面で開催し、会場の模様をオンライン中継することになりました。本号刊行日がその当日ですが、うまく実施できることを願っています。

さて、今号では、ともに2019年に亡くなられた大高順雄先生と高岡幸一先生への追悼文を数篇ずつ掲載しています。ご寄稿いただいた会員のみなさまに御礼申し上げますとともに、あらためて両先生に心からの哀悼の意を表します。

また、本年4月1日付けで、本学フランス文学研究室に平光文乃^{あやの}さんが助教として着任されることをお知らせします。新年度からさっそくご専門のブルーストについての講義を担当され、本会の運営にも携わっていただくことになります。

最後に、第31号から毎号本誌の装幀を担当して下さっていた辻村紀子さんから、先号をもって引退されるとのお申し出がありました。辻村さんのこれまでのご厚意に衷心より感謝申し上げます。ただ、今後も表紙の図柄の使用は許可して下さるとのことですので、お言葉に甘え、また奥付欄のお名前も続けて掲載させていただこうと思います（本号以後、表紙の用紙と色は編集委員が選定します）。

末筆ながら、執筆者のみなさま、本号の編集にご尽力いただいた教員・学生の役員各位に感謝申し上げます。また、会員諸兄弟におかれましては、ますますのご健勝を祈念いたします。

（山上 浩嗣）

GALLIA LX

2021年2月●日印刷・3月6日発行

編集発行者 大阪大学フランス語フランス文学会

代表者 山 上 浩 嗣

〒560-8532 豊中市待兼山町1番5号

大阪大学文学研究科・文学部フランス文学研究室内

tel. & fax : 06-6850-5117

e-mail : 1953gallia@gmail.com

URL : <http://www.gallia.jp/wordpress/>

表紙デザイン 辻村紀子